

14時30分解禁

平成19年9月 全国百貨店売上高概況

平成19年10月18日

I. 概況

1. 売上高総額	5,492億円余
2. 前年同月比	-2.5% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	94社 278店 (平成19年8月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,809,006㎡ (前年同月比:0.2%)
5. 総従業員数	100,310人 (前年同月比:9.0%)
6. 3か月移動平均値	2-4月 -0.5%、3-5月 -1.1%、4-6月 1.2%、 5-7月 -0.1%、6-8月 0.4%、7-9月 -2.1%

[参考] 平成18年9月の売上高増減率は1.0% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

2か月ぶりの前年同月比マイナスとなった。

今年の9月は月間を通して、観測史上最高記録を更新した猛烈な残暑の影響を受け、昨日からの回復基調が後退する結果となった。

異常高温のため、本来実需期に入るべき秋物衣料を中心に、好調を維持してきたファッション雑貨なども苦戦を強いられたほか、初旬の~~S~~連体に台風9号が上陸したことも、集客・売上に対し大きなマイナス要素となっている。

しかし一方で、前年に比べ休日が2日間増えたこと、今年前半に実施されたりリニューアル効果が持続していること、セールや物産展等の催事が比較的好調に推移したこと、等のプラス効果もあって、マイナス幅は2%台に抑えられている。

なお、一部の地区では、大型の記念セールや増床、競合店の閉店等の特殊要因を背景として、前年比プラスを記録している。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「9月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 北日本では寒気の南下がほとんどなく、また東・西日本では太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かった。このため、全国的に気温がかなり高く、全国153地点中64地点で9月平均気温の最高値を更新した。

(2) 営業日数増減 29.8日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 12日 (" プラス2日/土曜・日曜各1日増)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した：33店、②変化なし：46店、③減少した：68店、④不明：46店

(5) 9月歳時記 (敬老の日、秋分の日/お彼岸) の売上 (同上)

①増加した：8店、②変化なし：72店、③減少した：15店、④不明：98店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する：26店、②変化なし：95店、③減少する：21店、④不明：51店

全国百貨店 売上高速報 2007年09月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	549,282,152	100.0	-2.5 (-2.5)
10都市	354,249,954	64.5	-2.1 (-2.7)
札幌	15,489,275	2.8	-3.7
仙台	7,249,282	1.3	0.7
東京	137,273,974	25.0	-2.1
横浜	29,625,852	5.4	-1.8
名古屋	34,550,756	6.3	2.5
京都	21,331,591	3.9	0.3 (-5.7)
大阪	67,555,072	12.3	-5.3
神戸	14,988,701	2.7	-2.5
広島	11,738,780	2.1	-2.6
福岡	14,446,671	2.6	0.2 (-5.3)
10都市以外の地区	195,032,198	35.5	-3.3 (-2.3)
北海道	4,702,488	0.9	-1.4
東北	10,922,139	2.0	-6.9
関東	94,054,509	17.1	-3.0 (-0.3)
中部	14,602,392	2.7	-1.6 (-4.7)
近畿	17,098,669	3.1	-4.2
中国	13,383,715	2.4	-5.8
四国	10,225,793	1.9	-3.4
九州	30,042,493	5.5	-2.4

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	549,282,152	100.0	-2.5 (-2.5)
紳士服・洋品	33,905,668	6.2	-4.7 (-4.4)
婦人服・洋品	141,239,546	25.7	-7.0 (-7.1)
子供服・洋品	12,793,016	2.3	-8.5 (-8.3)
その他衣料品	16,640,071	3.0	-2.5 (-2.1)
衣 料 品	204,578,301	37.2	-6.3 (-6.3)
身のまわり品	77,020,597	14.0	-1.2 (-1.1)
化粧品	29,081,127	5.3	1.8 (2.0)
美術・宝飾・貴金属	30,218,212	5.5	-2.0 (-2.1)
その他雑貨	25,675,972	4.7	-3.2 (-4.4)
雑 貨	84,975,311	15.5	-1.1 (-1.5)
家 具	9,340,618	1.7	-6.9 (-7.1)
家 電	2,441,223	0.4	-3.2 (-3.2)
その他家庭用品	18,349,114	3.3	-1.7 (-1.7)
家 庭 用 品	30,130,955	5.5	-3.5 (-3.5)
生 鮮 食 品	28,211,912	5.1	1.4 (1.7)
菓 子	29,224,407	5.3	3.0 (2.9)
惣 菜	29,404,123	5.4	0.5 (0.4)
その他食料品	34,296,456	6.2	-1.3 (-0.9)
食 料 品	121,136,898	22.1	0.7 (0.9)
食 堂 喫 茶	16,477,591	3.0	2.0 (2.4)
サ ー ビ ス	6,213,139	1.1	7.8 (8.4)
そ の 他	8,749,360	1.6	10.4 (9.5)
商 品 券	15,840,362	2.9	-5.3 (-5.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

NEWS LETTER

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | | | |
|------------------|-------|----------|---|-----------|
| 1. 10都市売上動向 | -2.1% | (店舗数調整後) | / | 2か月ぶりマイナス |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -3.3% | (") | / | 3か月連続マイナス |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-2.1	-1.4	2か月ぶりマイナス
札幌	-3.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
仙台	0.7	0.0	2か月連続プラス
東京	-2.1	-0.5	2か月ぶりマイナス
横浜	-1.8	-0.1	2か月ぶりマイナス
名古屋	2.5	0.1	2か月連続プラス
京都	0.3	0.0	11か月連続プラス
大阪	-5.3	-0.7	2か月ぶりマイナス
神戸	-2.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
広島	-2.6	-0.1	3か月連続マイナス
福岡	0.2	0.0	2か月連続プラス
10都市以外の地区	-3.3	-1.2	3か月連続マイナス
北海道	-1.4	0.0	9か月連続マイナス*
東北	-6.9	-0.1	9か月連続マイナス*
関東	-3.0	-0.5	3か月連続マイナス
中部	-1.6	0.0	3か月連続マイナス
近畿	-4.2	-0.1	3か月連続マイナス
中国	-5.8	-0.1	3か月連続マイナス*
四国	-3.4	-0.1	3か月連続マイナス
九州	-2.4	-0.1	2か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは食料品、マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。化粧品・菓子は前年比較を開始して以来9か月連続プラス。また、生鮮食品・惣菜がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.5	-	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-4.7	-0.3	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-7.0	-1.9	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-8.5	-0.2	3か月連続マイナス
その他衣料品	-2.5	-0.1	3か月連続マイナス
衣料品	-6.3	-2.5	3か月連続マイナス
身のまわり品	-1.2	-0.2	2か月ぶりマイナス
化粧品	1.8	0.1	9か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-2.0	-0.1	7か月連続マイナス*
その他雑貨	-3.2	-0.2	3か月連続マイナス
雑貨	-1.1	-0.2	2か月ぶりマイナス
家具	-6.9	-0.1	2か月連続マイナス
家電	-3.2	0.0	7か月連続マイナス
その他家庭用品	-1.7	-0.1	4か月ぶりマイナス
家庭用品	-3.5	-0.2	4か月ぶりマイナス
生鮮食品	1.4	0.1	5か月連続プラス*
菓子	3.0	0.1	9か月連続プラス*
惣菜	0.5	0.0	2か月連続プラス*
その他食料品	-1.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
食料品	0.7	0.2	2か月連続プラス
食堂喫茶	2.0	0.1	2か月連続プラス
サービス	7.8	0.1	19か月連続プラス
その他	10.4	0.1	3か月連続プラス
商品券	-5.3	-0.2	3か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品についての推移は2006年1月から細分化したため、2007年の9か月のみの推移

平成19年9月 東京地区百貨店売上高概況

平成19年10月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,372億円余
2. 前年同月比	-2.1% (2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.9% (87.0%) : 非店頭-9.8% (13.0%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成19年8月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	961,117㎡ (前年同月比: 1.4%)
6. 総従業員数	18,570人 (前年同月比: -0.8%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 -1.5%、3-5月 -1.1%、4-6月 2.2%、 5-7月 1.1%、6-8月 2.1%、7-9月 -1.1%

【参考】平成18年9月の売上高増減率は2.2% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

- (1) 主力の衣料品分野は、一部晩夏物や薄手のシャツ・ブラウス等に動きが見られたものの、残暑の影響により総じて振るわなかった。
- (2) 同じく異常高温の影響から、婦人靴では、本来実需期に入るロングブーツが苦戦する一方、流行のブーティ (ショートブーツ) に人気が集まった。
- (3) 最近市場の注目度が高い高級腕時計を中心として、宝飾関連商品が好調であった。
- (4) 食料品は、複数の店舗で大型リニューアルが実施されたこともあり、好調を維持した。特に菓子類は多くの店舗で大きく売上を伸ばしている。
- (5) 9月は化粧品の買い替え期にあたり、それに合わせた各ブランドの秋物展開が開始されたこともあって好調を継続している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 5店、②変化なし: 5店、③減少した: 11店、④不明: 1店
- (3) 9月歳時記 (敬老の日、秋分の日/お彼岸) の売上 (同上)
 - ①増加した: 1店、②変化なし: 8店、③減少した: 0店、④不明: 13店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 6店、②変化なし: 13店、③減少する: 1店、④不明: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2007年09月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	137,273,974	100.0	-2.1
紳士服・洋品	10,264,881	7.5	-1.9
婦人服・洋品	33,698,432	24.5	-6.6
子供服・洋品	2,379,571	1.7	-6.0
その他衣料品	3,576,582	2.6	1.1
衣 料 品	49,919,466	36.4	-5.1
身のまわり品	20,546,123	15.0	3.9
化粧品	7,239,831	5.3	1.9
美術・宝飾・貴金属	8,855,501	6.5	-7.8
その他雑貨	7,779,328	5.7	-5.6
雑 貨	23,874,660	17.4	-4.3
家 具	2,915,243	2.1	-19.4
家 電	1,176,703	0.9	5.4
その他家庭用品	4,741,586	3.5	-0.8
家 庭 用 品	8,833,532	6.4	-7.2
生 鮮 食 品	4,268,373	3.1	1.7
菓 子	6,900,963	5.0	6.0
惣 菜	6,609,863	4.8	-0.8
その他食料品	8,604,001	6.3	1.2
食 料 品	26,383,200	19.2	2.0
食 堂 喫 茶	3,530,025	2.6	-3.9
サ ー ビ ス	2,019,567	1.5	23.6
そ の 他	2,167,401	1.6	-2.2

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

○本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	3,167,478 千円	-4.0
従 業 員 数	18,570 人	-0.8
売 場 面 積	961,117 m ²	1.4

営 業 日 数	30.0日	前年	30.0日
---------	-------	----	-------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、身のまわり品、食料品がプラス、マイナスは衣料品、雑貨、家庭用品。化粧品・菓子は9か月連続、生鮮食品は5か月連続プラスとなった。また、その他衣料品、家電、その他食料品がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.1	-	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-1.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-6.6	-1.7	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-6.0	-0.1	3か月連続マイナス
その他衣料品	1.1	0.0	2か月連続プラス
衣料品	-5.1	-1.9	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	3.9	0.5	5か月連続プラス
化粧品	1.9	0.1	9か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-7.8	-0.5	9か月連続マイナス*
その他雑貨	-5.6	-0.3	2か月ぶりマイナス*
雑貨	-4.3	-0.8	2か月ぶりマイナス
家具	-19.4	-0.5	5か月連続マイナス
家電	5.4	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	-0.8	0.0	3か月ぶりマイナス
家庭用品	-7.2	-0.5	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	1.7	0.1	5か月連続プラス*
菓子	6.0	0.3	9か月連続プラス*
惣菜	-0.8	0.0	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	1.2	0.1	2か月連続プラス*
食料品	2.0	0.4	2か月連続プラス
食堂喫茶	-3.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
サービス	23.6	0.3	17か月連続プラス
その他	-2.2	0.0	11か月連続マイナス
商品券	-4.0	-0.1	2か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品についての推移は2006年1月から細分化したため、2007年の9か月のみの推移

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>